

岩手×若手会議 神戸・丹波現地視察報告会&地方創生セミナー

～地方創生の最先端、丹波のU・ターン事例から岩手のこれからを考える～

U・ターンの若者22名で構成されているネットワーク型任意組織【岩手×若手会議】は、公益財団法人トヨタ財団「2013年度国内助成プログラム(東日本大震災特定課題)」の助成により、阪神・淡路大震災からの復興を経験している兵庫県へ現地訪問学習に行きまして。この現地訪問学習では、阪神・淡路大震災から20年の神戸市と、2014年8月に起こった集中豪雨による被害のあった丹波市を視察しております。

それぞれの地域でまちづくりに参画している若者との交流を通じて学んだことや感じたことを、より多くの方に知って頂くため、報告会を開催します。

また、この報告会には、ゲストに丹波市から市議会議員の横田親(いたる)氏をお招きして行ないます。20代、30代のU・ターンが増えている丹波市。特徴的なのは移住した多くの人が丹波市でシェアハウスに住んでいること。なぜ移住者が増えているのか？なぜ移住した若者の間でシェアハウス文化が根付きつつあるのか？地域を活性化するために重視しているイノベーションの普及理論と、コミュニティのつくり方とは？丹波市で検討中の地方創生など様々な事例を聞きながら、これからのまちづくりを考えます。

イベント詳細

日時:2015年2月23日(月)19:00～20:30
(21:00から懇親会を予定)

会場:シーパル大船渡
(大船渡市盛町字二本樫8-6)

定員:30名
参加費:無料

内容:
■現地視察の報告
岩手×若手会議視察メンバーからの報告
■丹波の取り組みについて
スピーカー:横田親氏
■質疑など

-ゲスト-

横田 親氏(丹波市議会議員)

1982年 三重県生まれ。立命館大学産業社会学部を卒業し、株式会社リクルートエイブリック(現リクルートキャリア)に入社。

大阪圏の企業に対する中途採用の採用アドバイスと、転職希望者に対する転職アドバイスを行う。

就業の傍らBBT大学院大学でMBAを取得し、研究テーマは農業ビジネス。その後にご縁あって丹波に移住し、農業での企業を志すも紆余曲折あって地域の「なんでも屋」として企業経営のアドバイスから、自治会の会議まとめまで、なんでもこなす人として独立して生計を立てる。

現在は2012年11月の市議会議員選挙にて当選を果たし、丹波市議会の最年少議員として活動を続ける。

主催:岩手×若手会議

復興支援に関わる20代から30代の民間・NPO・行政等で活動する若者(22名)で構成されたネットワーク型任意組織。「もっと若手が自由に発言し、岩手を盛り上げていかなければならない」という想いに共感し、活動を重ねるたびにメンバーを増員。多様な経歴・職能を持っている岩手県内のU・ターン者が主体的に関わっている。岩手県という広域な場所で各々本業を持ち、地理的に分散しながらも可能な限り時間を作りながら参画し、「若手会議」という若者の集うイベントを岩手県内で実施。また、その他様々な団体と協働し、岩手を盛り上げる活動をしています。



第1回若手会議in岩手



第2回若手会議「復興女子会議」



第3回若手会議「THEベンチャーズ」



KIBOW陸前高田

共催:NPO法人wiz

wizは「若手のネットワークで岩手を盛り上げる」をビジョンに掲げ、岩手県に関わる若者のネットワーク構築のための勉強会・交流会の運営を行っており、14年5月から300名以上が参加しています。IWATE実践型インターンシップのコーディネートに加え、今後は岩手に特化したクラウドファンディングの運営、U・ターン促進に向けた情報発信を展開予定。



交流会の様子



勉強会の様子



インターンシップのコーディネート



岩手に特化したクラウドファンディング

お申込先

岩手×若手会議 担当:高田(大船渡市市民活動支援センター)

TEL:090-8921-1849、E-Mail: takada@ofunatocity.jp

HP:http://ofunatocity.com/